



平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6277 URL <http://www.hosokawamicon.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 細川悦男  
 取締役常務執行役員  
 問合せ先責任者(役職名) 総務・経理統括兼経理本部本部長 (氏名) 井上鉄也 (TEL) 072-855-2225  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第1四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	10,654	9.3	602	—	681	6,349.2	447	—
27年9月期第1四半期	9,746	△10.5	△93	—	10	△98.1	△18	—

(注) 包括利益 28年9月期第1四半期 153百万円(△85.9%) 27年9月期第1四半期 1,086百万円(△39.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第1四半期	10.69	10.66
27年9月期第1四半期	△0.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第1四半期	49,504	30,165	60.8
27年9月期	50,714	30,323	59.7

(参考) 自己資本 28年9月期第1四半期 30,091百万円 27年9月期 30,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	7.50	—	7.50	15.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,700	12.1	1,300	114.8	1,250	84.6	850	84.6	20.30
通期	48,500	2.4	3,000	22.4	3,000	13.4	2,000	△20.8	47.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年9月期1Q	43,076,347株	27年9月期	43,076,347株
② 期末自己株式数	28年9月期1Q	1,213,407株	27年9月期	1,211,304株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年9月期1Q	41,864,044株	27年9月期1Q	41,857,318株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済は緩やかな回復が続いておりますが、12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で金利を引き上げており、今後の経済動向には注視していく必要があります。欧州経済は、雇用環境に回復傾向が見られるものの、新興国景気の低迷に伴う輸出が伸び悩み、製造業の設備投資も積極性に欠ける経済環境が続いております。アジア経済は、中国景気の減速や資源価格の低迷などを背景に、多くの国で鈍化傾向が続いております。

日本経済は、個人消費の回復ペースが鈍いものの、全体として緩やかな回復基調が続いております。しかし、設備投資は更新・合理化投資が中心で、能力増強投資は依然低迷しており、大幅な積み増しは期待できない市場環境が続いております。

このような経済環境の中、当第1四半期連結累計期間の受注高は124億1千4百万円（前年同期比3.0%の減少）、受注残高は191億3千4百万円（前年同期比0.5%の減少）、売上高は106億5千4百万円（前年同期比9.3%の増加）となりました。

利益面におきましては、営業利益は6億2百万円（前年同期は9千3百万円の営業損失）、経常利益は6億8千1百万円（前年同期比6,349.2%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億4千7百万円（前年同期は1千8百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 【粉体関連事業】

当事業は、粉碎・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。

期首の受注残高が多かったことに加え受注が堅調に推移し、受注、売上、利益全てにおいて増加となりました。

これらの結果、受注高は95億2千9百万円（前年同期比6.5%の増加）、受注残高は138億5千1百万円（前年同期比9.8%の増加）となり、売上高は78億7千3百万円（前年同期比6.7%の増加）となりました。セグメント利益は3億7千5百万円（前年同期比139.5%の増加）となりました。

#### 【プラスチック薄膜関連事業】

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

受注は好調だった昨年度には及ばないものの、売上、利益ともに好調に推移いたしました。

これらの結果、受注高は28億8千5百万円（前年同期比9.8%の減少）、受注残高は52億8千2百万円（前年同期比6.6%の減少）となり、売上高は27億8千万円（前年同期比62.8%の増加）となりました。セグメント利益は4億6千9百万円（前年同期比694.0%の増加）となりました。

当社グループは「製菓関連事業」を構成しておりましたHosokawa Bepex GmbH（ドイツ）の全株式を平成27年9月30日付で売却しております。これに伴い、当第1四半期連結会計期間より、「製菓関連事業」を報告セグメントより除外しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより12億1千万円減少し、495億4百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金や未払費用の減少などにより10億5千2百万円減少し、193億3千9百万円となりました。純資産は、主に為替が円高に振れたことによる為替換算調整勘定のマイナスが大きくなったことにより1億5千8百万円減少し、301億6千5百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結会計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年11月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更等)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,017	10,420
受取手形及び売掛金	11,652	10,583
有価証券	119	—
製品	1,748	1,816
仕掛品	2,278	2,743
原材料及び貯蔵品	2,325	2,261
繰延税金資産	460	462
その他	2,062	1,337
貸倒引当金	△164	△179
流動資産合計	30,500	29,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,325	17,135
機械装置及び運搬具	9,965	9,855
土地	4,555	4,527
建設仮勘定	50	89
その他	1,948	1,958
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,365	△16,408
有形固定資産合計	17,480	17,159
無形固定資産		
のれん	206	194
その他	269	252
無形固定資産合計	475	447
投資その他の資産		
投資有価証券	1,188	1,414
繰延税金資産	639	628
その他	439	418
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	2,258	2,451
固定資産合計	20,214	20,058
資産合計	50,714	49,504
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,974	4,427
短期借入金	—	52
1年内返済予定の長期借入金	1,724	1,627
未払費用	2,328	1,788
未払法人税等	278	262
繰延税金負債	100	140
前受金	2,561	3,449
賞与引当金	351	156
役員賞与引当金	58	19
製品保証引当金	434	487
ポイント引当金	35	38
その他	1,309	991
流動負債合計	14,158	13,442

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,802	1,537
退職給付に係る負債	4,222	4,179
繰延税金負債	37	50
その他	170	128
固定負債合計	6,233	5,896
<b>負債合計</b>	<b>20,391</b>	<b>19,339</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	5,148	5,148
利益剰余金	14,771	14,905
自己株式	△913	△914
株主資本合計	33,503	33,635
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	164	183
繰延ヘッジ損益	△19	△12
為替換算調整勘定	△2,820	△3,163
退職給付に係る調整累計額	△574	△551
その他の包括利益累計額合計	△3,249	△3,543
<b>新株予約権</b>	<b>69</b>	<b>73</b>
<b>純資産合計</b>	<b>30,323</b>	<b>30,165</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>50,714</b>	<b>49,504</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	9,746	10,654
売上原価	6,468	6,903
売上総利益	3,278	3,751
販売費及び一般管理費	3,371	3,149
営業利益又は営業損失(△)	△93	602
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	6	7
持分法による投資利益	21	7
為替差益	76	16
訴訟関連費用戻入額	—	33
その他	21	33
営業外収益合計	130	102
営業外費用		
支払利息	11	7
その他	15	15
営業外費用合計	26	22
経常利益	10	681
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産処分損	0	—
特別退職金	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前四半期純利益	4	684
法人税等	22	236
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18	447
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	447

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18	447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	19
繰延ヘッジ損益	△7	6
為替換算調整勘定	1,093	△343
退職給付に係る調整額	△40	22
その他の包括利益合計	1,104	△294
四半期包括利益	1,086	153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,086	153
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	7,378	1,707	660	9,746	—	9,746
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1	—	166	168	△168	—
計	7,380	1,707	826	9,914	△168	9,746
セグメント利益又は損失 (△)	156	59	△43	172	△265	△93

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△265百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	7,873	2,780	10,654	—	10,654
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,873	2,780	10,654	—	10,654
セグメント利益	375	469	844	△242	602

(注) 1 セグメント利益の調整額△242百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「製菓関連事業」を構成しておりましたHosokawa Bepex GmbH(ドイツ)の全株式を平成27年9月30日付で売却しております。これに伴い、当第1四半期連結会計期間より、「製菓関連事業」を報告セグメントより除外しております。